

# 国語

## 注意

- 1 開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答は、全て解答用紙に記入しなさい。
- 3 漢字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、記号で書きなさい。
- 5 問題用紙は、冊子の形になっています。
- 6 問題は、表紙の裏を1ページとし、7ページまであります。開始の合図で問題用紙の各ページを確認し、始めなさい。
- 7 問題用紙の表紙と解答用紙の受検番号欄に、それぞれ受検番号を記入しなさい。

受検番号

一

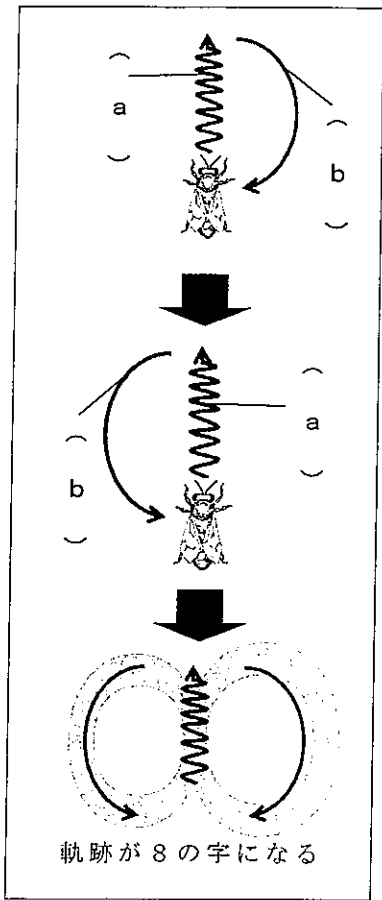
【本の一部】

次は、ミツバチの行動について書かれた【本の一部】と【図鑑の一部】です。これらを読んで、後の1から5までの各問いに答えなさい。

# 著作権保護のため削除

(原野の 健一 『ミツバチの世界へ旅する』による。)

【図】



●えさの方向とダンス

ミツバチは、花の蜜が豊富にある場所を発見すると、巣に戻って仲間を招集する。このときに行われるのが、ミツバチのダンスである。

ダンスは2種類あり、巣板の上を円を描くように歩き回るパターンと、尻を小刻みに振りながら8の字を描くように歩くパターンがある。

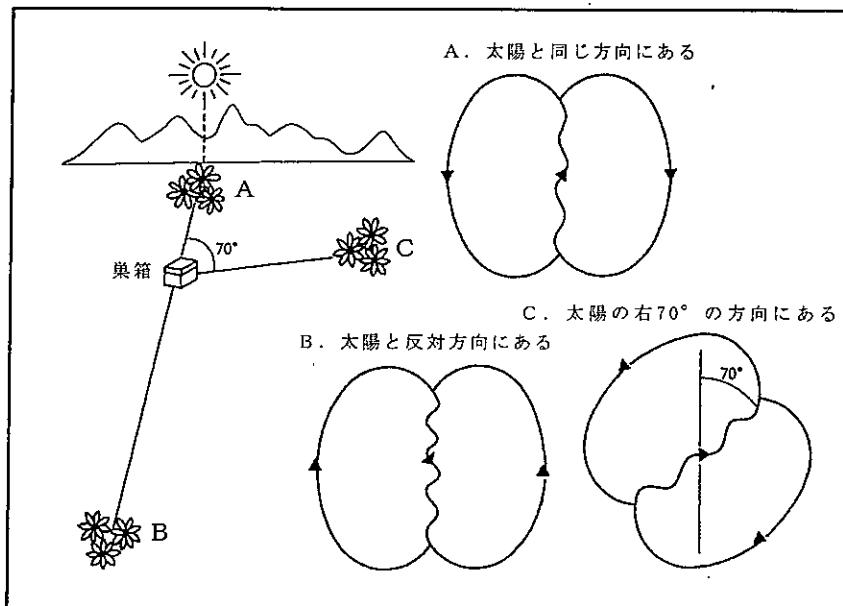
えさ場が巣から100mくらいの距離までにあるときには円ダンスが、それ以上遠いときには8の字ダンスが行われる。円ダンスは、近くに良いえさ場があることを伝えるが、8の字ダンスではえさ場までの距離とその方角が示されている。

8の字ダンスは、尻を振りながら直進する直線部分と、右回りと左回りに半円を描くように歩く曲線部分とで構成されている。ハチはまず直線部分を歩き、それから右回りに半円を描き、元にもどって再び直線部分を、そして左回りに半円を描いて元にもどってくる。この一連の動作を何回か繰り返す。

この直線部分が指す方角が、えさ場の方角を示している。巣の真上方向を太陽の位置として、垂直線と直線の進行方向とがなす角度が、えさ場が太陽のどちら側で何度の方角にあるかを示している。

この情報は、ダンスを踊っているハチのまわりにいる数匹に伝えられる。情報を得たハチは、えさ場へと向かい、えさを運んで巣にもどってダンスをする。これが繰り返されることによって、情報は巣の中にいる個体へとネズミ算式に伝わっていくことになる。

■ダンスが伝える方向



(岡島 秀治 監修 『昆虫の生態図鑑』による。)

(注) 採餌動物が餌を探して食べることにセイヨウミツバチミツバチの一種。亜種生物分類上の一階級。

巣板を構成する板状の部分。自然では天井からぶら下がっており、巣箱の中では垂直に立てられている。西アフリカ、アフリカ西部の地域。

佐々木正己先生農学博士。著者が学生の時の指導教官。

1 【本の一部】の【図】の(a)と(b)に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア (a) 戻り走行  
(b) 尻振り走行

イ (a) 戻り走行  
(b) 尻振りダンス

ウ (a) 尻振りダンス  
(b) 戻り走行

エ (a) 尻振り走行  
(b) 戻り走行

2 【本の一部】の——線部について、ミツバチがこの行動をするのはどのようなときですか。【図鑑の一部】の言葉を使って三十五字以内で書きなさい。

3 【本の一部】の~~~~~線部について、これはどのような研究のことですか。三十字以内で書きなさい。

4 【本の一部】に書かれている事柄について、【図鑑の一部】を読むことでより理解が深まることとして最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 巣から餌場までの方向は尻振り走行の中にどのように表現されているのか。

イ 生息する地域のちがいが8の字ダンスにどのような影響を与えているのか。

ウ ダンス蜂はなぜ尻振りダンスの戻り走行を右、左と交互に繰り返すのか。

エ 尻振り走行のちがいが遺伝的なものであるといえる理由は何なのか。

5 【図鑑の一部】に——線部「情報を得たハチ」とありますが、【本の一部】では、ミツバチは巣の中で、どのように距離についての情報を得ていると説明されていますか。具体的に書きなさい。

二

あかねさんは、本を読んで疑問に思ったことや心に残った表現、感想などを記録しています。次は、あかねさんが読んだ【本の一部】とあかねさんが書いた【読書の記録】です。これらを読んで、後の1から5までの各問いに答えなさい。（【本の一部】の①から⑧は、段落の番号を表します。）

【本の一部】

## 著作権保護のため削除

（注）仕様書Ⅱやりかたの順序を書いた文章。

（塚田 泰彦 『読む技術〜成熟した読書人を目指して〜』による。）

【読書の記録】

【書名】

『読む技術へ成熟した読書人を目指して』

【著者名】

塚田 泰彦

【疑問に思ったこと】

1段落

「文字を覚えるときもそうですが、読むことは書くことと循環して、はじめて力を発揮できるのです」

…「文字を覚えるときもそう」とは、どのようなことを示しているのだろうか。

4段落

「人間の多くの営み」や「交渉」という、読むこととは直接関係がなさそうな言葉が出てくるのはなぜだろう。

6段落

「説明的な文章」を読むときと小説や戯曲を読むときにはどのような違いがあるのだろうか。

説明的な文章を読むときには、小説や戯曲を読むときと違って

b

【心に残った表現】

7段落

「書き手を意識した読みをつねに積極的に実践している人は、自分が書く場合にも、その技術を活用しやすくなります」

「書き手を意識した読み」とはどのようなことか、三つの別の表現で書かれていることに気づいた。

○

a

こと

○意識的に書き手の側に立って、その文章の表現を読んでもること

○できるだけ書き手の立場に立って、書き方の工夫の跡をたどってみること

【感想】

1 あかねさんは、【本の一部】の——線部に着目し、疑問に思ったことを【読書の記録】に書きました。「文字を覚えるときもそう」とありますが、ここではどのようなことを示すために「文字を覚える」ときのことを挙げているのですか。次のアからエまでのうち、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 文字を覚えるためには読みながら書く練習を繰り返すことが必要であり、そうすれば覚える速度が速くなるということ。  
イ 文字を読んだり書いたりすることの一方だけでなく、両方をするのでより効果的に文字を覚えることができるということ。  
ウ 文字を新しく覚えるためには、まず声に出して読むことができれば書くことができるようになるということ。  
エ 文字を覚えることは難しいので、書く力を身につけてから読む力を身につけるといいう学習の順序が大切になるということ。

2 【読書の記録】の  に当てはまる適切な言葉を【本の一部】の文章中から四十字以内で抜き出し、そのはじめと終わりの五字ずつを書きなさい。

3  段落について説明したものとして最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア  段落で述べた意見への理解が深まるよう、立場を変えることの重要性を別の角度から説明している。  
イ  段落で述べたことと対比させ、違いが明確になるよう、交渉の技術という新たな視点を示している。  
ウ  段落までに述べたことまとめとなるよう、立場を変えることの重要性について意見を述べている。  
エ  段落で提起した問題を解決できるよう、交渉の技術という視点をふまえて、答えを導き出している。

4 あかねさんは、【本の一部】の——線部に着目して疑問に思ったことを【読書の記録】に書き、「説明的な文章」を読むときと小説や戯曲を読むときの違いについて、 のようにまとめました。次の  内の当てはまる適切な言葉を四十五字以内で書きなさい。

説明的な文章を読むときには、小説や戯曲を読むときと違って

5 【本の一部】を読んで、「読む力を伸ばす」ということについてあなたが感じたり考えたりしたことを、【読書の記録】の【感想】に書くとしたらどのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 【本の一部】から言葉や表現を引用して書くこと。

条件2 原稿用紙の正しい使い方にしたがって、百字以上、百四十字以内で書くこと。

三

次の1から4までの各問いに答えなさい。

1 次の①から⑤までの文中の——線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。

- ① 魚をやいて食べる。
- ② 衣類を箱にシユウノウする。
- ③ 昨日ユウビン物が届いた。
- ④ 空が赤くソまる。
- ⑤ ウチュウ飛行士になる。

2 次の①から⑤までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで書きなさい。

- ① 出席者に賛否を問う。
- ② ひもを束ねる。
- ③ 要求を退ける。
- ④ 畑を耕す。
- ⑤ 弟の書いた作文を添削する。

3 次の「花」という漢字を行書で書いたものです。楷書と比較したとき、後のアからエまでのの中から一つ選び、記号で答えなさい。



で囲まれた部分にはどのような特徴がありますか。最も適切なものを



- ア 筆順の変化と画数の増加
- イ 筆順の変化と点画の連続
- ウ 点画の連続と点画の省略
- エ 点画の省略と画数の増加

4 次の【古典の作品】を読んで、後の①と②の各問いに答えなさい。

【古典の作品】

思ひつつ 寝ればや人の見えつらむ 夢と知りせば 覚めざらましを

① 【古典の作品】の——線部「思ひつつ」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

② 【古典の作品】の種類として最も適切なものを次のアからエまでのの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 俳句
- イ 漢詩
- ウ 和歌
- エ 随筆



